

あ　と　が　き

新設された編集委員会のもとでの新装版第2号(通巻59号)をお届けします。新刊雑誌が号を追うごとに厚みを増して行くのは通例ですが、核データニュースも本号はだいぶ盛りだくさんなものになりました。ただテクニカルコメント欄への投稿はまだ殆んどなく、このコーナーの充実が当面の大きな課題となっています。核データの測定・評価・利用に関するちょっとした知見、あるいは論文にまでまとめるのは億劫だが埋もれさせるには惜しいデータなどをもとに、お気軽に投稿していただけるよう、お願いしておきます。

さて、広い技術分野に立脚し、さまざまな機関に属する多くの技術者・研究者によって担われている原子力分野にあって、評価済み核データファイルはお互いを結びつける一種の共通言語。各国、各機関のデータファイルを捨てても、JEFのもとに結集する意欲を示しつつある欧州の動きを見ても、共通言語をもつことの意義は大きいようです。幸い我が国にはJENDLがあり、このJENDLを中心に拡がりつつある核データコミュニティの共通の広場としての本誌の役割は小さくはないことを銘記し、今後も編集にたずさわって行きたいと考えております。

(吉田正記)

編集委員

- 浅見哲夫 (委員長・原研)
- 喜多尾憲助 (放医研)
- 中川庸雄 (原研)
- 中嶋龍三 (法政大)
- 吉田正 (NAIG)